

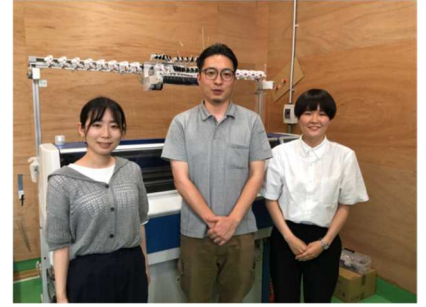
【参考：参加学生、受入団体のインタビュー抜粋】

<参加学生>

宮下咲良さん（和歌山大学） | 林燃糸

和歌山大学で観光を学ぶ宮下咲良さんは「和歌山で色んな面白いことをやっている大人のコミュニティや人脈を広げたい」という思いで参加。和歌山市で開催されたものづくりイベント「もの文2023 なつやすみファクトリー in 和歌山市民図書館」の企業ブースの運営を手伝った他、美浜町で大工仕事を学ぶ体験にも参加しました。

（インタビュー記事 <https://wakayamacrew.jp/interview/detail02>）



山東華さん（和歌山大学） | 有限会社岩橋シートワーク

和歌山大学で教育学を学ぶ山東華さんは、「ものづくりの会社を知りたい!」との思いから、和歌山ものづくり文化祭 2022 のボランティアスタッフとしてわかやま CREW を利用。海南市で漆器製造をされている町宗（まちむね）工芸さんのお手伝いを行った他、今年は精密板金加工業を営む有限会社岩橋シートワークさんのブースでお手伝いを体験しました。

（インタビュー記事 <https://wakayamacrew.jp/interview/detail01>）



<受入団体>

株式会社いとうともひさ

学生3名を受入れた株式会社いとうともひさの伊藤さんは「労働力としての期待より、同じ顔ぶれで思わず閉じこもりがちな田舎に、外から若い人がやってきて新しい風を吹かせてくれることが一番期待できるポイントだと思った」とのこと。

また、学生を受入れたことで「普段とは違った新鮮な体験により、仕事や暮らしの本質を見直す機会になった」と学生受入れのメリットを話します。

（インタビュー記事 <https://wakayamacrew.jp/host/detail01>）



紀の川フルーツ・ツーリズム

過去に3名の学生を受入れた、一般社団法人 紀の川フルーツ・ツーリズムで理事を務める西峰 祐美さんは「『わかやま CREW』を介して、この地域を好きになる若者が増え、その人がまた別の人に向けて地域の魅力を発信してくれる。そのつながりができたことが嬉しいです」と魅力を語ります。

（インタビュー記事 <https://wakayamacrew.jp/host/detail02>）

